

ランの道づくりについて （資料 3-4）

1 事業概要

(1) 経緯

太田川駅東歩道「ランの道」は、地元有志で組織する「大田まちづくりの会」と共に、ラン専門家である愛知教育大学名誉教授の市橋正一先生の協力を得ながら、平成29年度（2017年度）から植栽を行い、現在では、シランやガーデンシンビジウムなど12種類、約7,000株が延長600メートルにわたって植えられており、4月から6月まで、色とりどりの開花を楽しむことができます。

(2) ランの道づくり植栽会

花と緑の豊かなまちづくりを推進するため、また、ランに親しんでもらうことを目的として、令和2年度（2020年度）から毎年、市民参加による植栽会を開催しています。

また、令和5年度（2023年度）からは、多くの方に「ランの道」を歩きながら花を楽しんでいただくため、普及啓発イベント「ランの道ウォーク」を開催しています。



令和6年度（2024年度）イベントの記録

開催日	内 容	参加人数
5月18日（土）	普及啓発イベント：「ランの道ウォーク」 スタンプラリー等	200人
	講演会：「世界蘭会議発表の報告」 植栽会：シラン2,000株	82人
		延べ282人参加

2 今後の課題

「らんのみち東海市」の観光名所となるよう、ランの道のさらなる魅力アップを図るとともに、市内各所でランを生かした花いっぱいのまちづくりを推進していきます。



セッコク(5月～6月)



フウラン(6月)



キエビネ(4月)



ガーデンシンビジウム(4月～5月)



ミニカトレア、オンシジウム(4月～5月)



ネジバナ(6月)



シラン(5月)



シラン(5月)



名鉄太田川駅から東へ延びる歩道約600mには、シランやセッコク系デンドロビウム、フウランなど、12種類のランが約7,000株植栽されています。

なかでもシランは、愛知教育大学名誉教授の市橋先生が品種改良された、個性あるオリジナルの16品種をはじめ、珍しい色の野生種等、他ではなかなか見ることができない貴重な花を楽しむことができます。

ランの道 監修

愛知教育大学名誉教授
市橋 正一 氏



Supervisor

世界蘭会議 2024



愛知教育大学の教授として、花き園芸学、ランの生物学等の分野の研究に携わってこられ、東海市の生産者とも長年にわたり関わりのあったご縁から、太田川駅東歩道「ランの道」の監修をいただいています。

令和6年2月に台湾で開催された「世界蘭会議2024」において、世界のラン専門家や愛好家に向けて「ランの道づくり」についてご紹介いただきました。

管理ボランティア

大田まちづくりの会
蘭の道グループのみなさん



Volunteer



水やり、雑草取りなど、日常管理の中心を担ってくださっています。

訪れる人たちに楽しく散策してほしい、そして、「ランのまち」東海市を次世代へ引き継いでいきたいという思いをもって、日々ランの道づくりに尽力されています。



ランのまち、東海市。

＜始まりは牡丹栽培から＞

本市の花卉園芸の歴史を辿ると、始まりは江戸時代の中期、現在の大田町で牡丹栽培が行われていたことがきっかけと言われています。

大正時代には村の特産となり、花を見に訪れる人々のため、当時の太田川駅南に臨時の停留所がつくられるほど盛んであった牡丹栽培ですが、昭和17年（1942年）頃には、戦時中の作付制限等の理由から、姿を消してしまいました。



＜観葉植物時代の到来＞

知多半島で観葉植物の栽培が始まったのは、昭和28年（1953年）からと言われていますが、販路が開拓されるにつれ、本市でも盛んに生産されるようになりました。アナナス、観音竹、ヤシ等、様々な観葉植物が栽培されましたが、なかでもアナナスはブームが起こり、栽培されているところへ観光バスが訪れることもありました。



＜洋ランの栽培が増え始める＞

昭和35年（1960年）頃、観葉植物時代の到来とともに、洋ランの栽培も始まりました。昭和40年（1965年）代中旬にメリクロン苗（培養技術により増やした苗）が普及すると、大量生産が可能になったことで、生産者も増え、洋ランは本市の特産品になっていきました。



＜未来に繋げていくために＞

「ランの道」づくりは平成29年度（2017年度）から始まりました。太田川駅周辺の区画整理事業に伴い、「大田まちづくりの会」の皆さんから、まちの活性化のため、市の特産であるランを植栽してはどうかと提案をいただいたことがきっかけです。

東海市の新しい観光名所になることを目指して、市民参加による植栽会や、日常管理など、多くの人の協力のもと、ランの道づくりは現在も続けられています。



— 植栽会は、あいち森と緑づくり税を財源とする24いち森と緑づくり事業により実施しています。—

【セッコク（石斛）系シンビジウム】
開花期：5月



太田川駅東歩道

ランの道

見どころガイド



【シラン（紫蘭）】
開花期：5月



市橋正一氏 シラン(紫蘭)コレクション



えりか

咲き始めの花弁は黄色を帯び、後白色に。リップは丸形。



りすみ

繊細な感じですが、奥地に繊細です。

市橋先生が品種改良したシランには、研究に協力してくれた学生さん等の名前が付けられています。



あやの

美しい色調。サクラのように可愛らしい。リップは四角い実花小輪装ゆすり。



ゆり

強健で、地植えすると大きく育ちます。シラン(紅)が父種。



きょうこ

強健で地植えすると大きく育ちます。シラン(白)が母種。



しおり

強健で地植えすると大きく育ちます。シラン(紅)が母種。



ひろこ

シラン(紅)が母種。花が大きい品種です。



たえみ

シラン(紅)が母種。リップは唇側に傾く。



えりな

シラン(紅)が母種。リップは父種に似る。



まこ

強健で大きく育ちます。シラン(紅)が父種。リップの黄色は唇側由来。



みきこ

強健で大きく育ちます。シラン(紅)が父種。リップの黄色は唇側由来。



さとこ

シラン(紅)が母種。花弁のピンクが特徴。



りょうこ

強健で立体的な感じの花。シラン(紅)が母種。



ゆうこ

シラン(白)が母種。強健。端正に整った形で平面的な感じの花。



さくら

リップが厚やかであるが噛みやすい。サクラを模した花。



さえ

白弁で長めのリップは、四角い実花小輪装ゆすり。



シラン 流通種



四川小白菱

野生種



四川黄花小白菱

野生種



雲南小白菱

野生種



① シラン(5月頃)



② セッコク系(5月～6月頃)



③ フウラン(6月頃)



④ ガーデンシンビジウム(4月～5月頃)



⑤ ネジバナ(6月頃)



⑥ キンリョウヘン(4月～6月頃)



⑦ オンシジウム(5月頃)



⑧ ミニカトレア(4月～5月頃)



⑨ サギソウ(7月～8月頃)



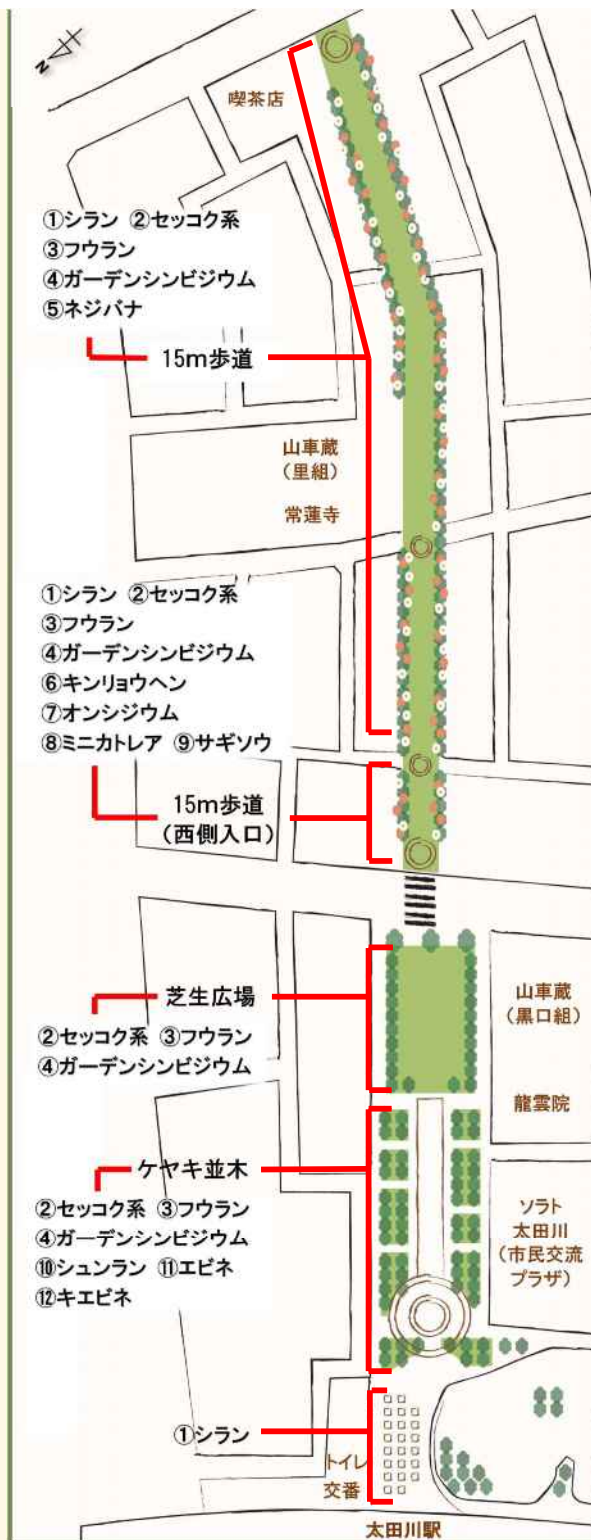
⑩ シュンラン(4月頃)



⑪ エビネ(4月～5月頃)



⑫ キエビネ(4月頃)





らんのみち
Tokai City

入場無料

ランのまち、
東海市であなたのランを見つけに出かけよう。

太田川駅東歩道 ランの道ウォーク

4月中旬から5月下旬まで、
12種類、約7,000株のランが楽しめます。

令和6年5月18日(土) 10:00~15:00

雨天中止

ランの道づくり植栽会

13:30~

事前
予約制

参加者にはランの
苗をプレゼント!

地域の皆様にて
「ランの道」に
植栽していただきます



ランの道 監修 愛知教育大学名誉教授
市橋 正一氏による講演会実施

お問合せは主催者 東海市まで

スタンプラリー

10:00~15:00

ポイントを全部回って、
シートにスタンプを押そう!
完成したシートを持って
本部で景品と交換しよう!

詳細は本チラシの裏面をチェック!

ランの花装飾

常蓮寺 手水場

[スタンプラリーポイント]



| 主催 | 東海市

| 主管 | 株式会社まちづくり東海

produced by
知多メディアネットワーク株式会社

| お問合せ | TEL 0562-77-0789 [株式会社まちづくり東海 平日 8:30~17:00]



同時
開催

パン
& スイーツマルシェ 太田川

入場
無料

雨天
決行

パン

スイーツ

ワークショップ



詳しくはこちら



太田川駅東歩道 ランの道



5月18日(土)のスタンプラリーは…

ランの道の見どころと同時開催のイベント各所にあるスタンプを押してシートを完成させよう!完成したらランの道ウォーク会場本部でランの苗と交換しよう!

※景品は先着順です ※ランの苗はなくなり次第終了し、他景品となります
※スタンプラリーシートは各イベント本部にて配布しています

ランのまち、
東海市であなたのランを見つけに出かけよう。

東海市 花と緑の推進課 ランの道

さらに詳細を知りたい方はこちらのQRコードから市公式ページへ



ランの道

名鉄太田川駅から東へ延びる歩道約600mには、シランやセッコク系デンドロビウム、フウランなど、12種類のランが約7,000株植栽されています。なかでもシランは、愛知教育大学名誉教授の市橋先生が品種改良された、個性あるオリジナルの16品種をはじめ、珍しい色の野生種等、他ではなかなか見ることができない貴重な花を楽しむことができます。

ランの道 監修 愛知教育大学名誉教授 市橋 正一 氏



アクセス

- ・公共交通機関の場合
名古屋鉄道太田川駅すぐ(駅東側)
- ・車の場合
西知多産業道路「加家IC」または「横須賀IC」より約5分
知多半島道路「大府東海IC」より国道155号線より約10分

車でお越しの場合は太田川駅東公共駐車場をご利用ください。

